

老舗茶屋を事業継承
 専門家の助言を受け店舗改善



さつき濃 神谷園

☒ 石川台希望ヶ丘商店街
 振興組合(大田区)

活用した事業

- ・店主スキルアップ事業
- ・商人大学校
- ・商店街起業・承継支援事業

家族で営む老舗茶屋 新たな経営に向けて公社を活用

1932年創業の日本茶専門店 さつき濃 神谷園は、厳選されたお茶がずらりと並ぶ老舗茶屋だ。カフェスペースでは丁寧に淹れられたお茶やこだわりの抹茶アイスが楽しめる。店主の原田恵代さんが高齢の両親から家業を継ぐことを決めたのは3年前。

「店舗をリニューアルしたいと考えた時に、商店街起業・承継支援事業の助成制度があると知り、公社のサービスを利用することにしました」

そこで、商店主スキルアップ事業に申し込み、専門家の助言を受けながら新店舗のイメージを具体化していった。「常連のお客様を大切にしつつ、若い方にも足を運んでもらえるような店にしたいと考えていました。これまではお茶の販売のみでしたが、新たにおしゃれなカフェを併設したり、ワークショップを開催するなど、店の方向性を専門家と固めていきました」

専門家からの助言で 顧客目線に徹した店づくりを実践

2020年5月に新店舗がオープンした後も専門家からのアドバイスに従って店舗改善に取り組んでいった。そこで大いに学びになったというのが、ファサード、商品陳列、POP作成などのノウハウ。「特に目からウロコだったのが、店の入口はシンプルに、という助言。元々は軒先に乾物を置いていましたが、それを店の奥に配置し、入口近くにお茶を陳列したことで、お客様が入店後すぐに欲しい商品へたどり着けるようになりました。また、抹茶アイスなどカフェの目玉商品の看板を設置したことで、それを見た若い方や家族連れが入店してくれるようになったのです。

両親がこれまで築いてきたやり方を変えることは大きなハードルでしたが、助言をいただいたことはまず試してみようと勇気を出しました。すると目に見えて結果が出て、プロの力に感銘を受けました」



『さつき濃 神谷園』二代目の石川一郎さんと三代目で現店主の原田恵代さん

商人大学校で経営の基礎知識を習得 販路拡大のためにランディングページを自作

2022年には商人大学校基礎講座を受講。経営者として必要なスキルを一つずつ身に付けていった。「オンライン受講は店の営業と両立できますので大きなメリットでした」

並行して店のオリジナル商品「ひとこと茶」の販売を始めた。「パッケージには娘のイラストを使っています。これがほっこりすると好評なんです。ITの専門家の支援を受けてランディングページも自作しました」

今後の夢は、海外の人にもお茶の魅力を発信すること。新しい挑戦に向けて、目を輝かせている。



さつき濃 神谷園

大田区東雪谷2-12-3 TEL.03-3729-1213

<https://kamiyaen.com/>

